

市道38号線は、様々な人が使っています。このみちが通るまちをみんなが安全に、そして使いやすいためにはどうしたらよいか、取組みが始まりました。

2025年活動がスタート

8月3日(日)にスタートした「芹沢町の交通安全調査隊第1回」では、地域の皆さんや公園を訪れた方とともに栗原小学校と東原小学校の小学3年～6年生に回答いただいたヒヤリ・ハットマップを大きな地図にまとめました。

作業をとおして、地域の各箇所でも事故未遂が起きていることがわかりました。

作業後、皆で芹沢地区のみちづくりのあり方についても話し合いました。

ヒヤリハットマップの内容は、今後出前展示などで、地域の皆さんにも報告する予定です。(下記写真は当日のようす)



ミッション **スピードガンで 車の速度を調べよう**

ふだん危険だと感じている自動車はどれくらいのスピードで走っている？スピードガンを使って調べてみよう。

日時

10/12 日

雨天の場合11/8(土)に延期

13:30～16:30

集合場所

芹沢公園北側公園管理棟



スピードガンを使った
交通調査(例)

申込み方法

対象・人数 ①小学3～6年生と保護者のペア隊員(10組)
②大人隊員(10人) ※先着順

応募方法 下記を明記のうえ、市LINE公式アカウント、メール、FAXのいずれかでお申し込みください。

①件名：まちの交通安全調査隊申込み
②名前・フリガナ(ペアの場合お二人とも)
③年齢(児童は学年) ④(ペアの場合)児童の学校名 ⑤住所 ⑥連絡先
座間市都市部道路課

申込み
問合せ

☎ 046-252-8576

✉ douro1@city.zama.kanagawa.jp

FAX 046-255-3550

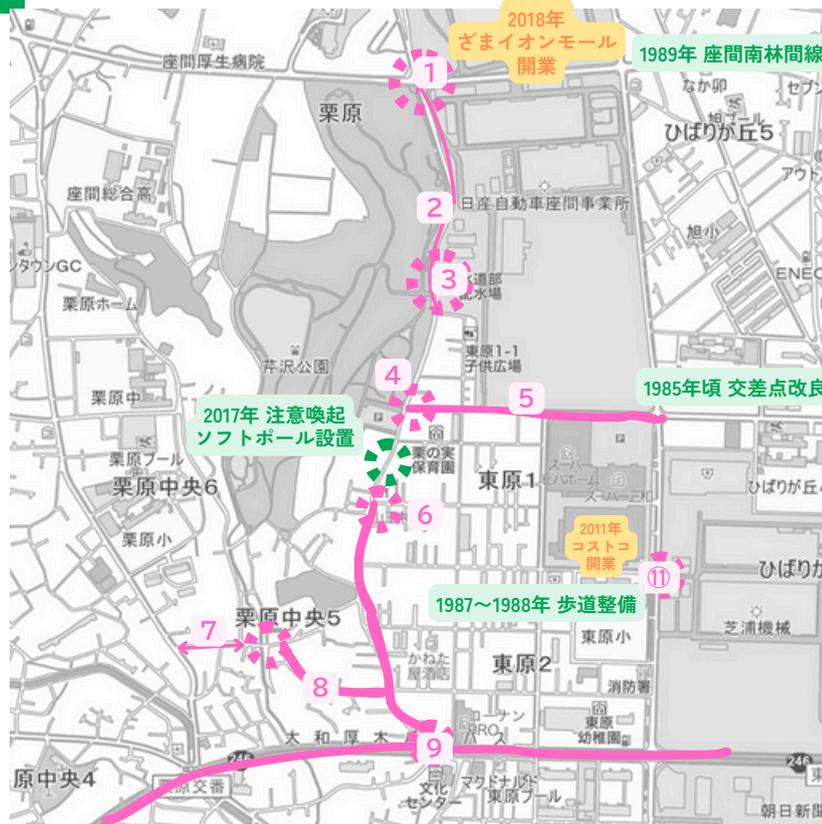
座間市公式LINE▶



地域の交通の課題やアイデア

8/3の参加者からの意見を一部紹介します。

みちの安全をみんなでお考えよう



▼課題

- 右折できるようになり、法定速度を守っていてもクラクションを鳴らされる。30kmを守ってもらえるようにしたい①
- 見通しの悪いカーブが多い②
- 公園との丁字路は狭いので信号機が設置できず、歩行者は危険だ③
- 死亡事故が発生している⑤
- 角度のあるT字路になっていて、車が視認しにくい⑥
- 坂道で狭い、危険⑧
- 谷になっていて上り優先のルールが守られない。
- 車の量が多く幅員も狭いため、歩行者や自転車が通れる場所がない⑩
- 高木があって見通しが悪く、サクラなどの整備更新が必要だ⑪
- 246号線や38号線南側の渋滞がひどい。
- 横断歩道がほしい。
- 1.渋滞をなくす2.歩行者の安全が課題だ。

▼交通の課題を解決するためのアイデア

- 道の特性を使って一方通行を増やすしたいが、道路沿いの住民は車の入り方が変わってしまいそうだ。
- せめて横断歩道を設置してほしいが、歩行者の待機する道やスペースが必要になりそうだ。
- 地域住民の団結して、みんなで信号機の代わりにしてはどうか。
- 道の形状を整えても、スピードを出すようになってしまったり、規制をしても脇道に入ってしまうなどの課題をどうすれば良いか？
- 一方通行にしてしまうと、なかなか変更できないと聞いている。一方通行は沿道住民にどのような影響があるかわからないので難しそうだ。



アンケートご協力ありがとうございます

交通事故に遭いやすい小学生や高齢者を対象に、通学路や身近な道路で「ヒヤリ・ハット」したことを地図に回答いただきました。現在集計分析中です。まとめ次第通信などでお知らせします。



属性	対象	回答数
東原児童ホーム	1~2年生	グループインタビュー (30名)
サンホープ児童ホーム	3~6年生	23通
清流会 (高齢者クラブ)	65歳以上	14通
東原小学校	3~6年生	68通 3年生20通/4年生11通/5年生9通 /6年生28通
栗原小学校	3~6年生	147通 3年生52通/4年生30通/5年生38 通/6年生27通

いただいた意見より

- 朝、登園時間が遅くなり、更に交通量が増えています。通勤時間帯で焦っているのか、速度も早く、渡るのも大変です。
- 38号線は歩道が少なく車が多いので徒歩では通らないようにしている。
- 38号線が246号線への抜け道となっており法定速度を守らない車が多い。
- 山王神社の前の通りが狭い。